

すべてのステークホルダーから信頼を得る企業であり続けるために。

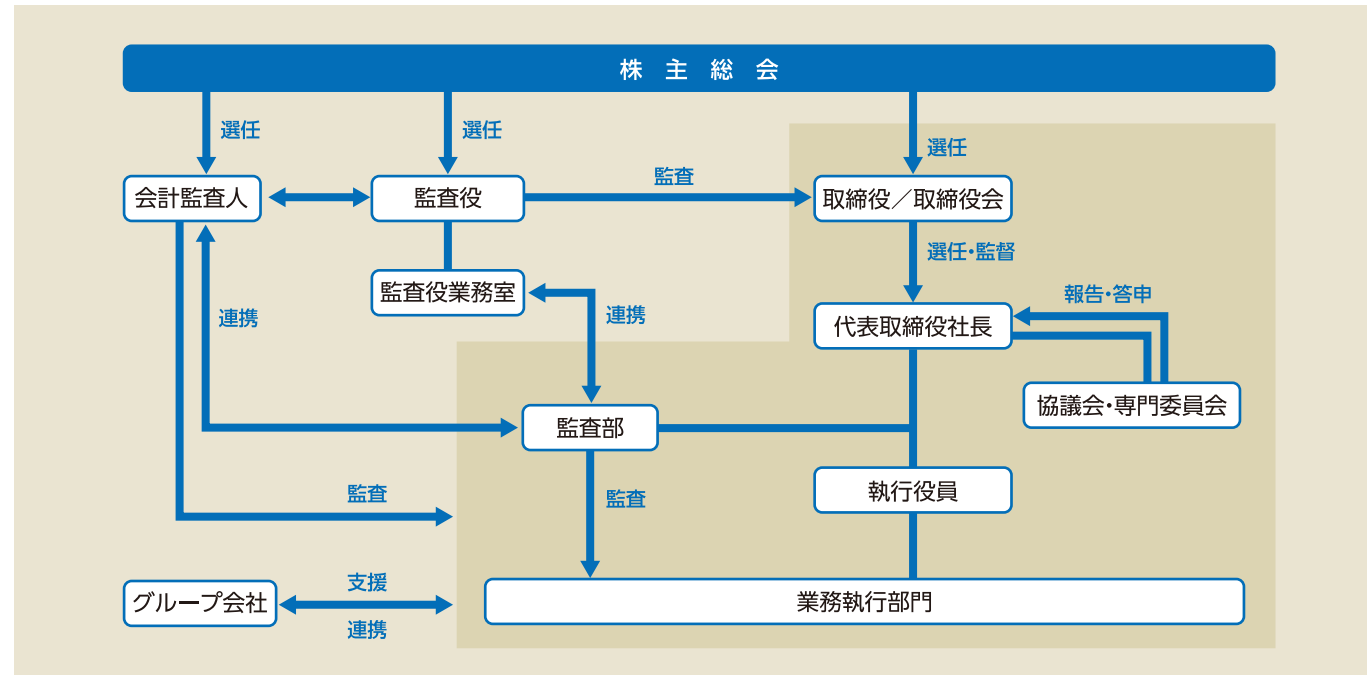
企業統治

大成ロテックでは、経営の効率化・透明性・健全性を高めるためにコーポレートガバナンス体制の充実・強化を図り、企業価値を向上させることを目指しています。

取締役会(社外取締役を含む)は、経営上の重要事項の決定と業

務執行の監視を行います。監査役は、取締役会などの重要な会議への出席を通じて取締役の職務執行の適正性、健全性について監査を実施しています。また、執行役員制度を導入し業務執行の効率化・迅速化を図っていきます。

■コーポレートガバナンス体制図



情報セキュリティ対策

情報化社会は私たちの生活を便利にし、多種多様な利益をもたらしています。しかし利便性を得た反面、サイバー攻撃やインターネットにおけるトラブルなど大きな危険を抱えています。これらの脅威から会社の情報資産を守るために、情報セキュリティレベルの向

上、社員が遵守すべきことを定めた「情報セキュリティ管理規程」の制定やEラーニングによる研修の実施をはじめとする、さまざまな情報セキュリティ対策を講じています。

個人によるX(旧Twitter)、Facebookなどの情報発信メディアによるトラブルを防止する行動指針として「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を制定しています。

マネジメントシステム

当社は現在3つのマネジメントシステムを社内でも運用しています。実態が外から見えにくい品質管理システム、環境管理システムについては国際規格であるISO9001とISO14001に基づく外部の認証登録を受け、2017年に2015年版の移行審査を受け、移行が完了しています。第三者から定期的にその運用状況について審査を受け、日々業務の継続的改善に努め、当社の持続的な成長に繋げています。また、社外からその活動が見えやすい労働安全衛生管理システムについては2017年度までは自己宣言方式を採用して運用していましたが、2018年度にCOHSMSIに基づく外部の認証登録を受けました。

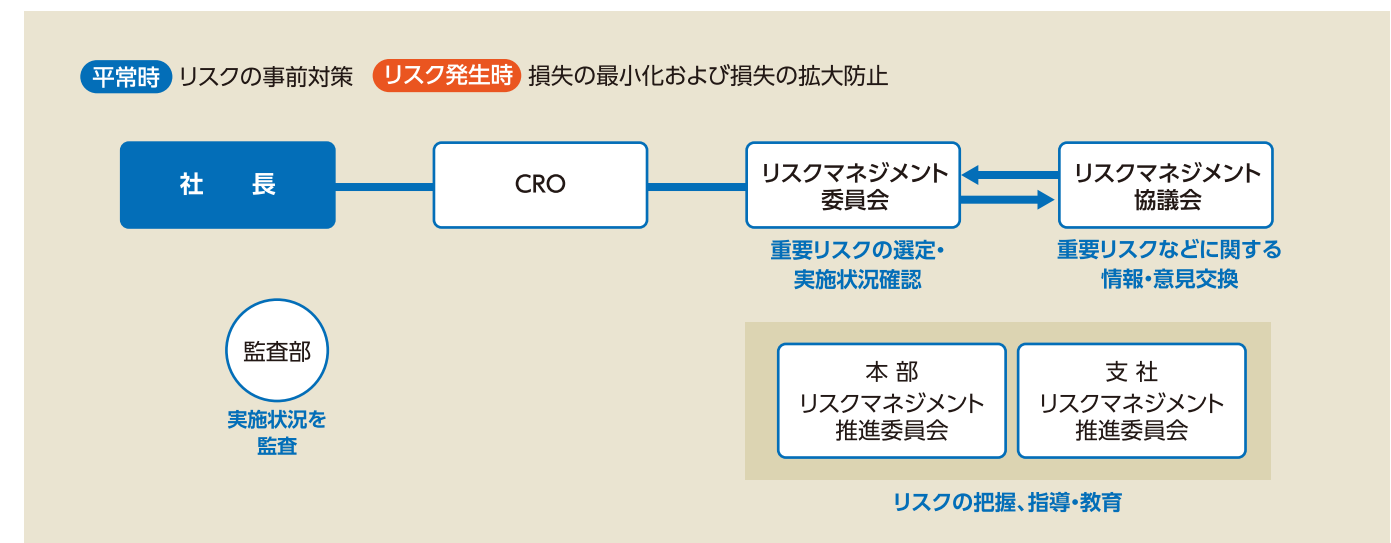


リスクマネジメント

会社の社会的信用を損なわせる可能性のある事象、会社に人的、物的もしくは経済的損失を発生させる可能性のある事象をリスクと定義し、各本部・支社において抽出されたリスクの中から、特に影響度や発生の可能性・頻度が高いリスクについては「全社重要リスク」として管理・周知を図り、適宜必要に応じて見直しを実施しています。各部門ではそのリスクについて日常的にモニタリングし、リ

スクコントロールがなされているかをチェックしており、また、監査部はリスクマネジメントの実施状況に関する監査を実施しています。それらを継続的に実施することにより、リスク発生の予防、リスク発生による損失の最小化、再発の防止およびリスク対策の評価と改善を行い、大成建設グループの一員として企業の社会的責任を果たしていきます。

■リスクマネジメント実施体制



コンプライアンスの推進

大成ロテックでは、「大成ロテック企業行動規範」を基本にコンプライアンスを推進し、社会から信頼される企業となるため、法令などの遵守や公正な取引の確保などを図っています。

また、今年度は、昨年度に引き続き、「法務コンプライアンス部」および「監査部」を中心に、一連の独占禁止法違反事件を受けて策定した再発防止策に関するフォローを重点的にを行い、関係各部門と連携することにより、再発防止策のさらなる徹底を図っています。

具体的な取り組み

■工事・管理・営業および製品販売など各部門の役職員に対してコンプライアンス遵守を徹底させるために、継続的にコンプライアンス研修を開催しています。また、独占禁止法違反に対する再発防止策として、入札関係者に対してコンプライアンス研修を開催しています。本年度は、これまでの施策(ルールベース)の展開に加えて、原理原則(プリンシプルベース)による考え方を浸透・定着させることで、コンプライアンスに対する「知識と意識」の浸透・向上を図っています。

■2018年4月から、全社員に対して「コンプライアンス通信」を発行しています。建設業法・ハラスメント・環境問題・労働関連など毎回テーマを変え、月に1回を目途に配信し、コンプライアンス遵守意識の向上に努めるとともに、日常業務におけるコンプライアンス資料としての活用も図っています。



コンプライアンス研修の様子

■営業活動におけるコンプライアンス遵守状況の確認のため、社内規程「独占禁止法遵守のための行動指針」「入札業務の適正確認手続きに関する細則」にのっとり、毎年入札業務の監査を行っています。